仏壇・仏具

Buddhist altar

忌明けが過ぎると、白木から黒塗りの位牌へ。
故人への想いを写すお仏壇で、
永遠にご遺族との心を結びます。
確かな技と厳選された材質のお仏壇・仏具をご紹介します。

公益社では、各種仏壇・仏具をご紹介させていただいております。
ご予算に応じて、お気軽にご相談ください。

お仏壇は家庭祭祀の場所です。
つまり、お寺が家の中にあると考えてよいでしょう。
家庭浄化の中心、精神生活、情操教育のより所です。
心静かに祈る未来へのあたたかな扉なのです。

お仏壇を購入する時は

お仏壇をお求めになる方は、ご葬儀の後、故人をお祀りするためにご購入する場合が多いようですが、四十九日の忌明け法要までには揃えたいものです。また、仏事に関係なく、家を新築・改築した時など、生活の変化に応じてご購入してもよいでしょう。その際、置かれるスペースも考慮したいものです。

本位牌は四十九日までに

ご葬儀の時にご用意された白木の位牌は、仮りのもので四十九日のご法要がすむと菩提寺に納めます。ご法要前までに、黒塗か唐木の板位牌、または回出し位牌をご用意いたしましょう。

お仏壇の安置場所

家庭の精神生活にふさわしい場所を選ぶのがよいですが、現在の住宅事情などに合わせて考えてもよいでしょう。仏壇の向きは、南向きか、東向きがよいとされています。

●お仏壇の安置例●

ご法事について

亡くなった人を供養する行事で、これを仏教では法事といいます。
故人の冥福を願い、仏の世界に落ち着くことを願うわけです。

一周忌	翌年	正式な喪服を着用します。
三回忌	2年目	略礼服を着用します。
七回忌	6年目	略礼服の着用がよいといわれますが、華美にならない程度の平服でもかまいません。
十三回忌	12年目	
十七回忌	16年目	
二十三回忌	22年目	略して25回忌をおこなうこともあります。
二十七回忌	26年目	
三十三回忌	32年目	三十三回忌までおこなうのが一般的です。
五十回忌	49年目	故人の霊は祖霊に帰ります。

金仏壇

唐木仏壇

上置

家具調仏壇

上置

家具調仏具

位牌

仏具一式